

2023年3月期第3四半期 決算補足説明資料

2023年1月31日



株式会社新日本科学 (東証プライム 2395)
SHIN NIPPON BIOMEDICAL LABORATORIES, LTD.

■ 3 Q決算について

2023年3月期 3Q 決算ハイライト

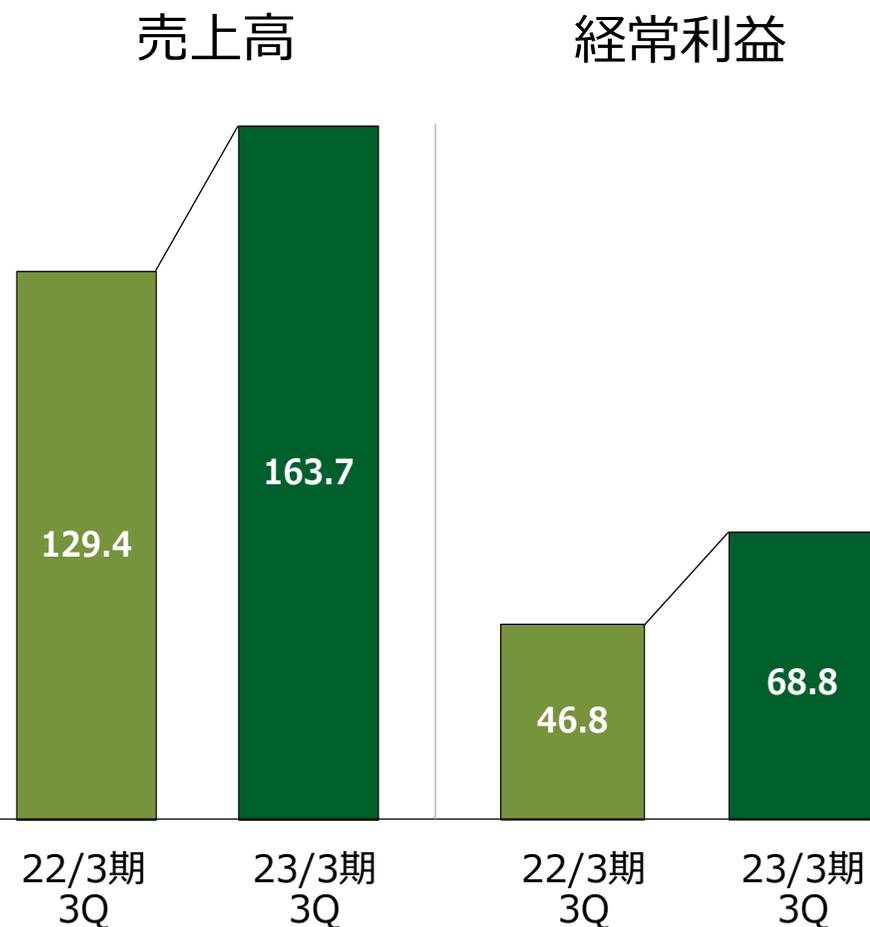
売上高はイナリサーチ（7-12月）21.3億円の寄与もあり3Qとして過去最高を更新

営業利益、経常利益も前年に続き、いずれも過去最高益

当期純利益は前期/中国で繁殖・飼育事業を行う子会社の持分変動による特別利益の剥落▲13.6億円、米国Satsuma社の株式評価損▲11.9億円等により前年同期比▲8.9億円

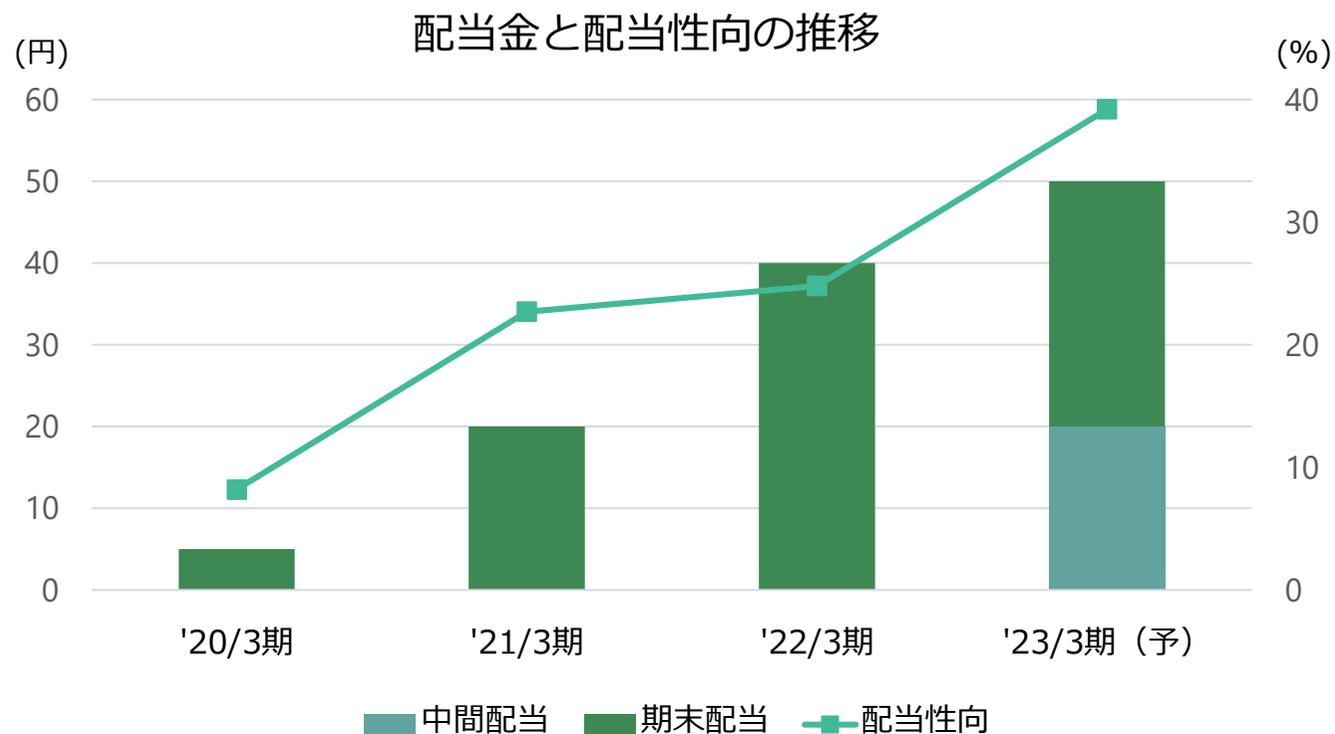
(単位：億円)

	2023年3月期		
	3Q実績	前年同期比	
売上高	163.7	+34.2	26.5%
営業利益	37.8	+4.8	14.6%
経常利益	68.8	+21.9	46.9%
経常利益 (為替差損益影響を除く)	56.9	+15.0	35.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	43.5	-8.9	-17.1%



配当状況

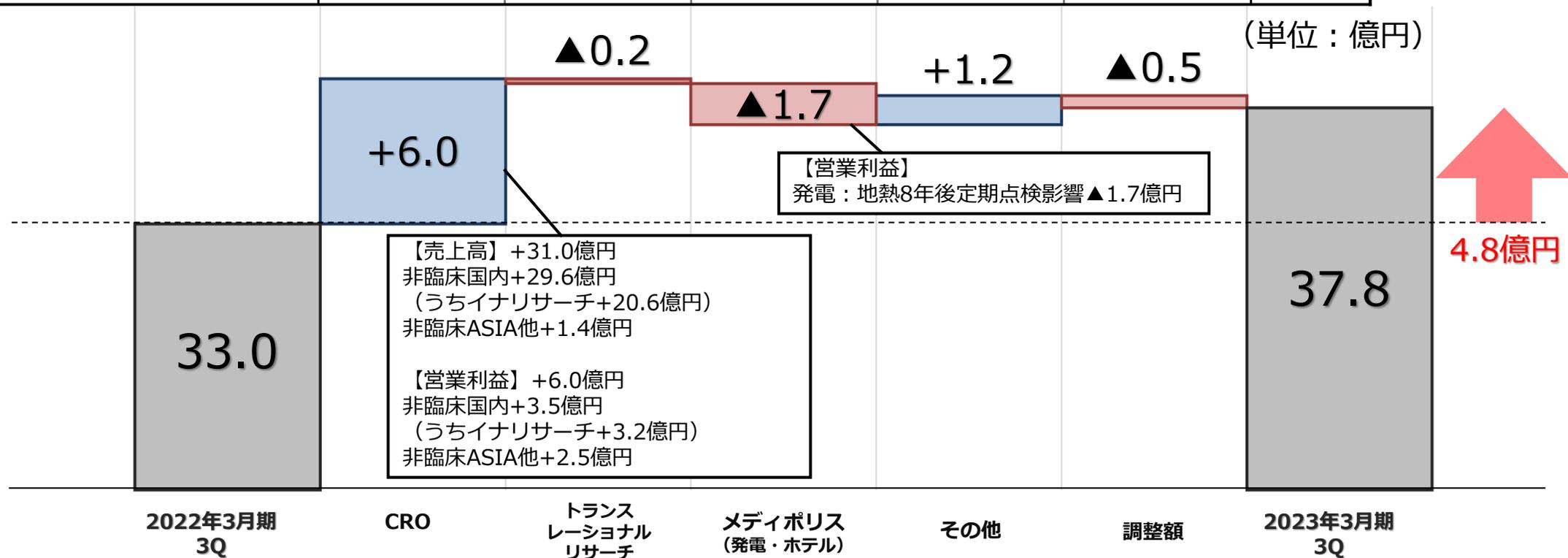
2023年3月期：上期に上場来初の中間配当を実施。期末配当予想を1株当たり20円から30円へ上方修正
 当社の配当方針：2022年5月より「連結配当性向30～40%を目処として、基礎的な収益力やキャッシュフローの状況等を勘案の上、決定」に方針変更



	'20/3期	'21/3期	'22/3期	'23/3期 (予)
1株当たり配当額	5円/株	20円/株	40円/株	50円/株
配当総額 (百万円)	208	832	1,665	2,081
配当性向	8.2%	22.7%	23.4%	39.2%

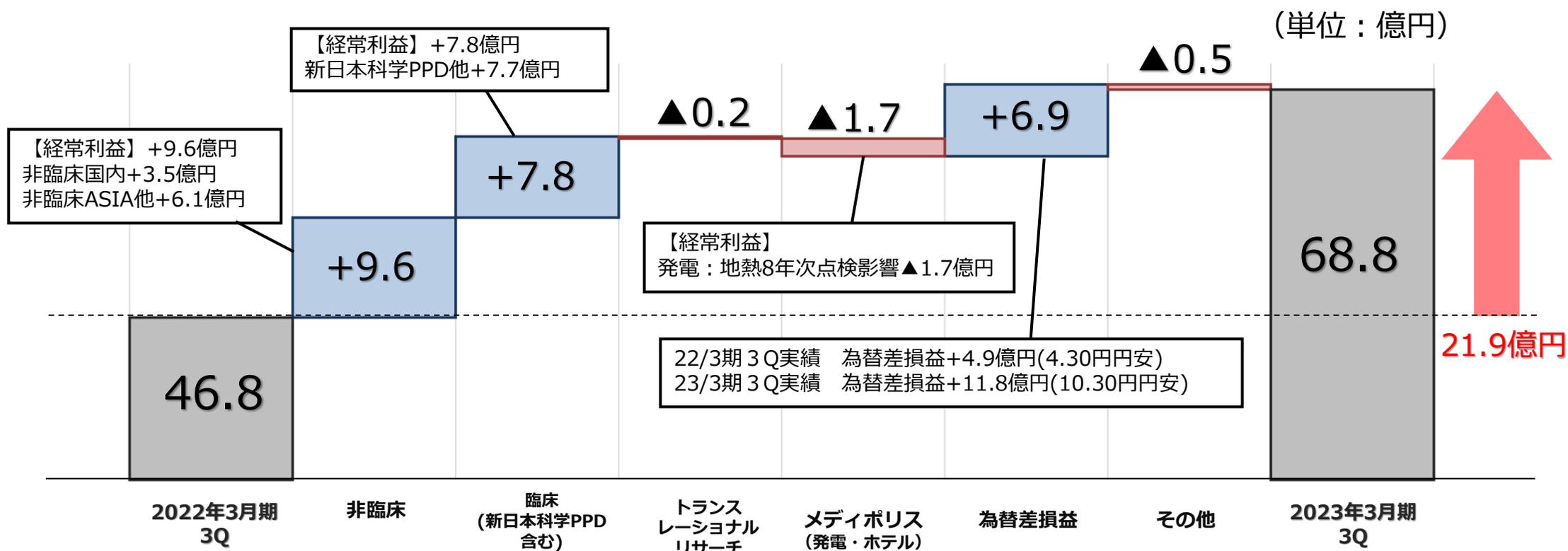
2023年3月期 3Q 連結営業利益 前期比較

	CRO事業	トランスレーショナル リサーチ事業	メディポリス 事業 (発電・ホテル)	その他	調整額	営業利益 合計
2023年3月期実績3Q	44.5	-5.1	-1.6	1.1	-1.1	37.8
2022年3月期実績3Q	38.5	-4.9	0.1	-0.1	-0.6	33.0
前期比増減額	+6.0	-0.2	-1.7	+1.2	-0.5	+4.8



2023年3月期 3Q 連結経常利益 前期比較

	CRO事業		トランス レーショナル リサーチ事業	メディボリス 事業 (発電・ホテル)	為替差損益	その他	経常利益 合計
	非臨床事業	臨床事業 (新日本科学PPD含む)					
2023年3月期実績 3Q	48.8	17.1	-5.1	-1.6	11.8	-2.2	68.8
2022年3月期実績 3Q	39.2	9.3	-4.9	0.1	4.9	-1.8	46.8
前期比増減額	+9.6	+7.8	-0.2	-1.7	+6.9	-0.5	+21.9



■ 通期業績予想の修正について

2023年3月期 通期 業績予想の修正

業績予想の前提為替を**128円/米ドル**に変更

売上高は、現在入手困難となっている実験用NHP(Non-Human Primates)を試験に先立ちクライアントが時価で事前確保できるオプションを提供したところ、予想よりも好評で5億円程度の売上が加算されたこと等により上方修正

営業利益は、SNLD開発費が来期へ期ずれする影響等により上方修正

経常利益は、直近の為替動向を勘案・想定レートの見直しにより下方修正

当期純利益は、米国Satsuma社の株式評価損▲11.9億円等により下方修正

(単位：億円)

	2023年3月期				
	今回修正予想	前回予想比		前期比	
売上高	250.0	+10.0	4.2%	+72.5	40.9%
営業利益	54.6	+2.0	3.8%	+12.6	30.1%
経常利益	84.3	-13.7	-14.0%	+13.5	19.1%
経常利益 (為替差損益影響を除く)	78.2	+6.0	8.4%	+21.1	37.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	53.1	-16.9	-24.1%	-18.1	-25.5%

2023年3月期 業績予想の修正の概要

1. 売上高

前回予想対比+10.0億円

⇒非臨床国内/受託試験の前倒し等+6.1億円

⇒その他連結子会社の増収+3.9億円

2. 営業利益

前回予想対比+2.0億円

⇒SNLD開発費/来期へ期ずれする影響+1.4億円

⇒その他連結子会社の増益+0.6億円

3. 為替差損益(営業外損益)

子会社貸付金等に対する為替評価損益

前回予想対比▲19.7億円(16.81円円高)

⇒前回予想の想定為替レート144.81円/米ドル

⇒今回予想の想定為替レート128.00円/米ドル

4. 特別損失(投資有価証券評価損)

Satsuma Pharmaceuticals 1,198百万円

※なお、2023年3月末株価が2.40米ドル以上であれば

計上取り消し

株式会社ヘリオス 73百万円

[為替影響]

売上高の4Q影響：1円円安あたり+9百万円/米ドル

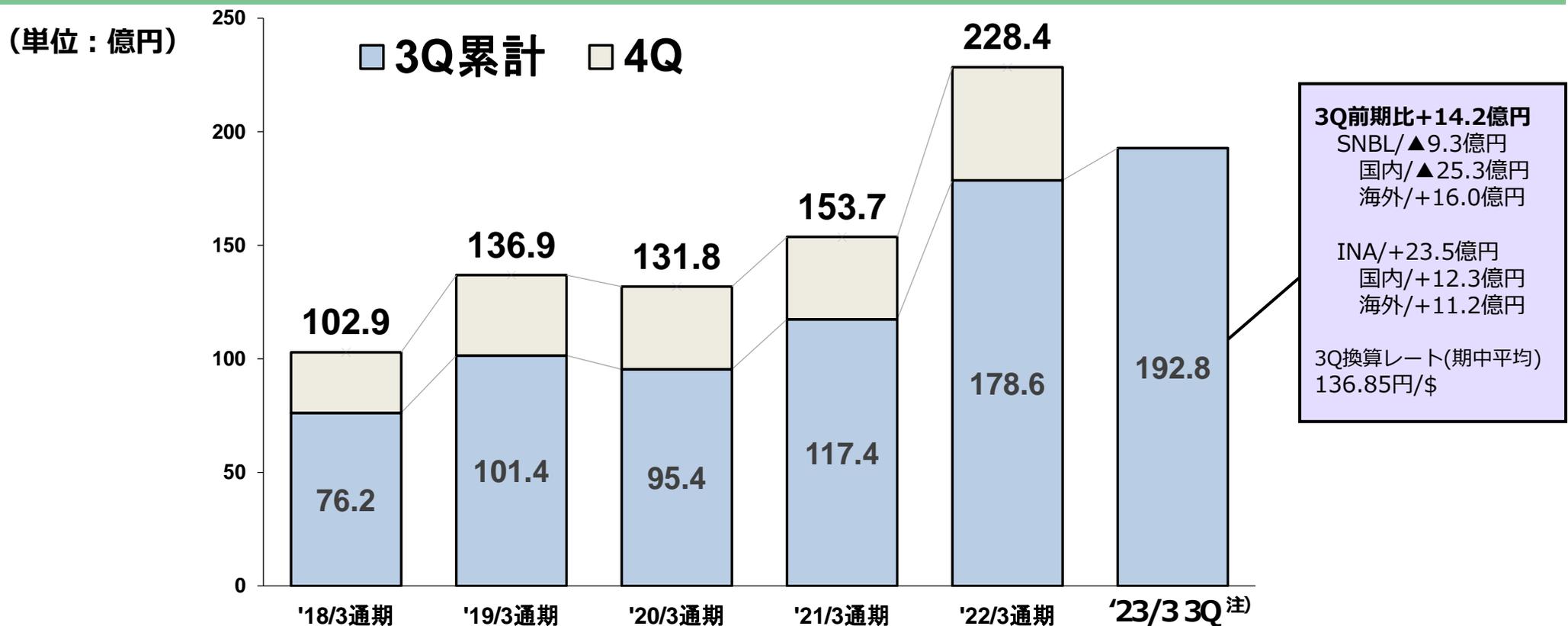
営業利益の4Q影響：1円円安あたり+5百万円/米ドル

営業外損益は1円円安あたり+1.2億円/米ドル影響

■ その他の指標・アップデート

CRO事業：2023年3月期3Q 非臨床 受注状況（円ベース）

一年以上先の開始試験を予約する傾向（前3Q累計受注の約19%）と新型コロナウイルス関連の受注（約14億円のマイナス要因）が一段落しつつあり、これらの特殊要因を除くと受注は堅調に伸長



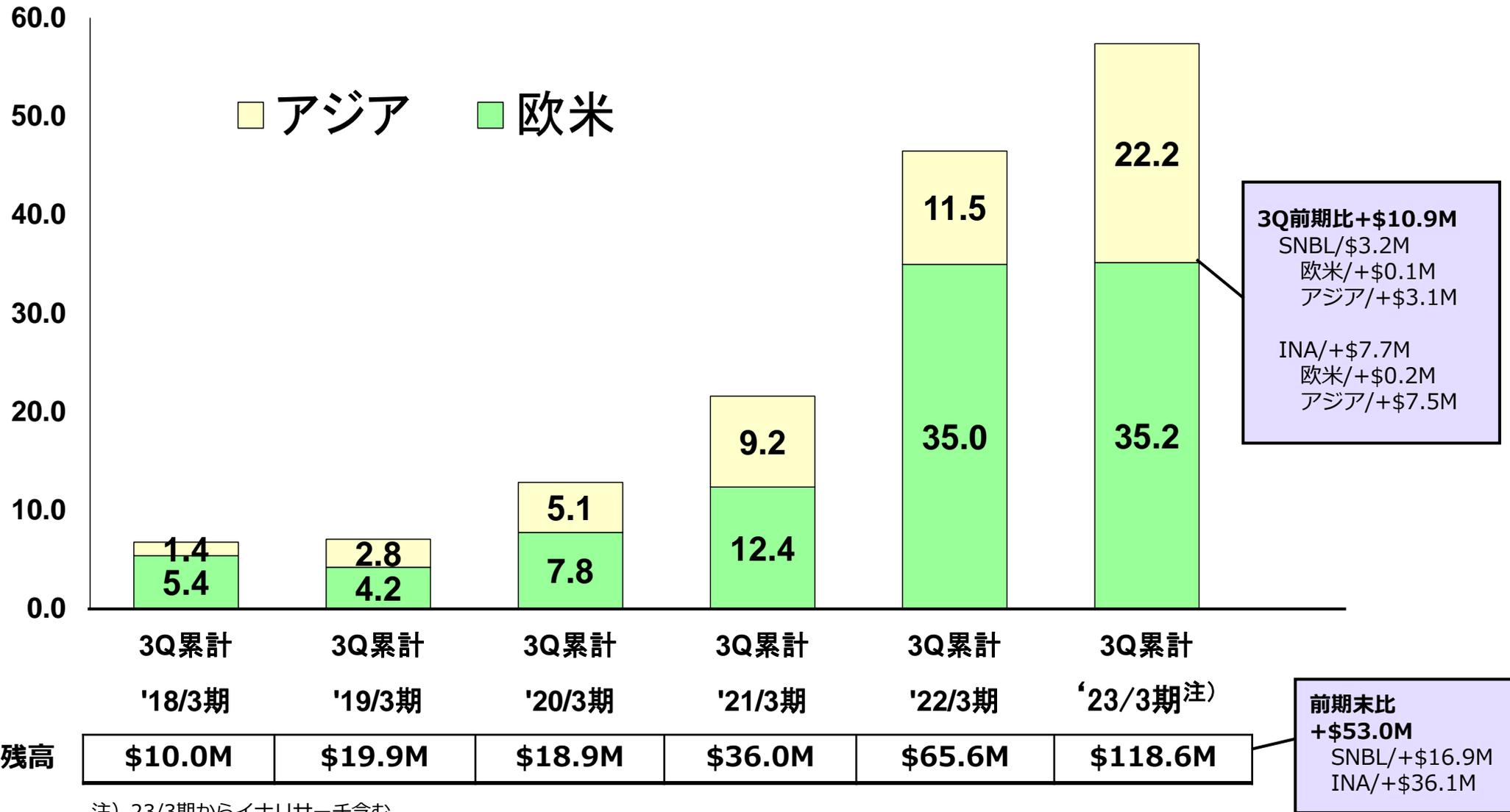
受注残高	74.9億円	108.2億円	114.7億円	136.6億円	209.7億円	325.9億円
海外受注高比率	10.5%	12.3%	12.9%	20.6%	28.6%	41.0%

前期末比+116.2億円
 SNBL/+47.9億円
 INA/+68.3億円

注) 23/3 3Qからイナリサーチ含む
 海外受注高は円換算レートを各期の期中平均レートで算定
 海外受注残高は円換算レートを各期の期末レートで算定
 受注済案件の中止（キャンセル）が発生した場合は、その時点でマイナス計上

CRO事業：2023年3月期3Q 非臨床 海外からの受注状況（US\$ベース）

(単位：\$ M)



注) 23/3期からイナリサーチ含む
 受注済案件の中止（キャンセル）が発生した場合は、その時点でマイナス計上

CRO事業：事業利益の推移

CRO事業の3Q累計の事業利益（営業利益＋持分法利益）は前3Q比36.9%増益の64.3億円、事業利益率は3.6%改善し41.5%に上昇

【CRO事業の事業利益および事業利益率の推移】

（単位：百万円）

		2021/3期 3Q累計	2022/3期 3Q累計	伸び率	2023/3期 3Q累計	伸び率
CRO事業	売上高	9,945	12,406	24.7%	15,515	25.1%
	営業利益	2,209	3,854	74.5%	4,453	15.5%
	営業利益率	22.2%	31.1%		28.7%	
	持分法利益	538	848		1,984	
	（うち新日本科学PPD）	538	864		1,611	
	事業利益	2,747	4,702	71.2%	6,437	36.9%
	事業利益率	27.6%	37.9%		41.5%	

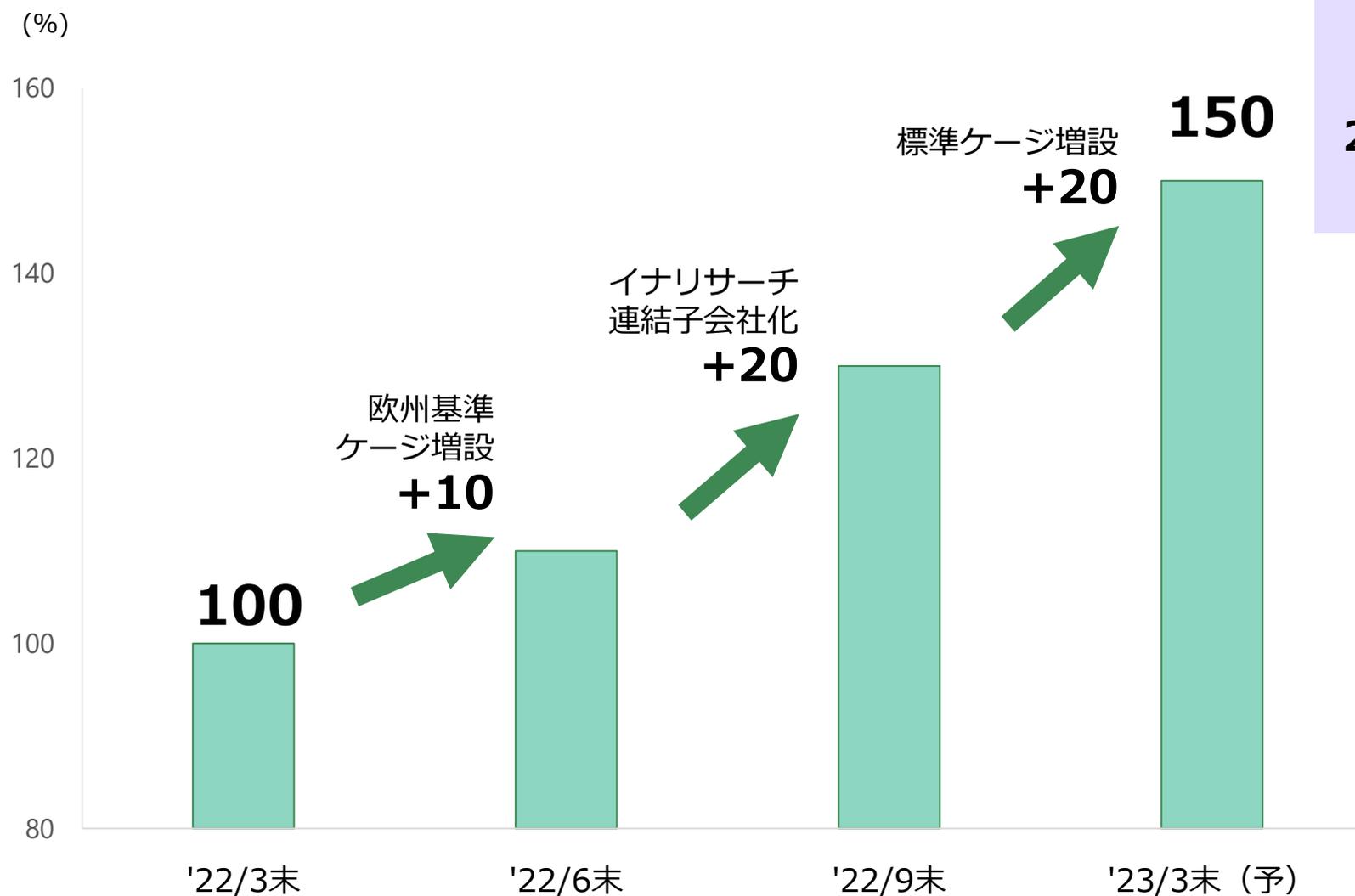
※事業利益は営業利益＋持分法利益

※臨床事業を行っている新日本科学PPDおよび中国の繁殖施設SNBL Chinaは持分法適用会社であり売上高、営業利益には計上されない

⇒営業外収益に計上される新日本科学PPDの持分法利益（23/3期3Q累計は1,611百万円）、SNBL Chinaの持分法利益（23/3期3Q累計は373百万円）を加えたCRO事業の2023年3月期3Q累計の事業利益は6,437百万円、**CRO事業の事業利益率は41.5%**

非臨床事業 試験施設の増設

【2022年3月末の試験施設能力を100とした場合のイメージ図】



非臨床事業の
試験施設能力は
2023年3月末に
300億円規模へ

重要投資先 2 社の動向



- 当社の経鼻投与技術のライセンス（経鼻偏頭痛薬ジヒドロエルゴタミンへの適用に限定）を導出する形で2016年6月に米国に設立
- 2019年9月 米Nasdaq上場（STSA）。当社持株比率は8.4%
- 開発進捗：米国における臨床第3相試験
 - 2022年9月 長期安全性試験（ASCEND試験）で忍容性・安全性を確認
 - 2022年11月 有効性試験（SUMMIT試験）で主要評価項目の投与後2時間では統計的有意差は出なかったものの、投与後3時間から48時間までは継続して痛みの消失（Pain Free）と煩わしい随伴症状の抑制（MBS Free）などについて統計学的に効果があるとの結果を発表
 →2023年1Q（1月～3月期）中のFDAへのNDA申請に向け準備中



- 当社がハーバード大と東京大学の教授等の技術を基に設立
- 2015年11月 米Nasdaq上場（WVE）。当社持株比率9.5%
- 核酸医薬合成に関する独自の基盤技術（立体異性体を制御するプラットフォーム技術）とゲノム編集技術(ADAR)を保有
- 開発進捗：
 - 2022年12月 **英GSK社と戦略的提携契約締結**を発表。本契約締結により、GSK社から1億7,000万ドル（1ドル135円換算で約230億円）の契約一時金を受領。肺と肝臓に影響を与える希少疾患AATD治療を目指すRNA編集プログラム(WVE-006)の独占的なグローバルライセンスを供与



業績データ一覧

(百万円)	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3予想
売上高	16,600	15,658	14,561	15,110	17,748	25,000
前年比	-3.7%	-5.7%	-7.0%	3.8%	17.5%	40.9%
売上総利益	5,204	6,177	7,615	7,554	9,687	13,090
売上総利益率	31.3%	39.5%	52.3%	50.0%	54.6%	52.4%
営業利益	-697	829	2,228	2,529	4,195	5,460
前年比	-	-	168.5%	13.5%	65.9%	30.1%
持分法による投資利益	637	361	888	846	1,439	
経常利益	-813	1,613	3,121	3,645	7,078	8,430
税前当期純利益	-1,507	1,650	3,062	4,175	8,183	
法人税等	2,013	-308	414	497	1,016	
親会社株主に帰属する当期純利益	-3,555	1,950	2,550	3,661	7,127	5,310
1株当たり当期純利益 (円)	-85.41	46.84	61.25	87.95	171.20	127.54
海外売上高	4,868	4,015	2,317	2,100	3,091	
海外売上高比率	29.3%	25.6%	15.9%	13.9%	17.4%	
株主資本	7,982	9,958	12,386	15,840	22,181	
純資産額	26,215	28,477	16,381	15,838	19,723	
総資産額	57,493	54,329	39,002	36,972	39,312	
有利子負債	19,139	16,158	15,123	12,864	9,281	
自己資本比率	45.5%	52.3%	41.8%	42.6%	49.8%	
設備投資額	1,274	1,612	1,514	1,025	1,703	5,061
減価償却費	1,472	1,361	1,229	1,187	1,177	1,496
研究開発費	518	339	400	392	425	547
売上高R&D比率	3.12%	2.17%	2.75%	2.59%	2.39%	2.19%
期末従業員数 (人)	1,385	935	985	986	994	1,221
自己資本当期純利益率 (ROE)	-14.6%	7.1%	11.4%	22.9%	40.4%	
総資産経常利益率 (ROA)	-1.4%	2.9%	6.7%	9.6%	18.6%	
投下資本利益率 (ROIC)	-	-	11.7%	12.3%	18.4%	
売上高営業利益率	-4.2%	5.3%	15.3%	16.7%	23.6%	21.8%
売上高経常利益率	-4.9%	10.3%	21.4%	24.1%	39.9%	33.7%
1株当たり配当額 (円)	-	3.0	5.0	20.0	40.0	50.0
配当性向	-	6.4%	8.2%	22.7%	23.4%	39.2%

注意事項

1. 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々なリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。
2. 本資料は国内外を問わず、投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。本資料の利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
3. 当資料は「2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に準拠し作成しています。また、差額、比率については億円単位未満切捨てで記載しております。

＜IRに関するお問い合わせ＞



株式会社新日本科学
IR広報統括部

電話： 03-5565-6216
E-mail： ir@snbl.com
ウェブサイト： <https://www.snbl.co.jp>